

輝く女性応援企業育成事業【山梨県】

地域の実情と課題

・本県の25歳から44歳までの女性の有業率はH24に73.75%であり、全国の70.8%を上回っているものの、全体としては製造業の企業撤退などによる事業所数の減少や、県外への転出者が転入者を超えているなどの課題を抱えている。

目的・目標

- ・目標（アウトカム）：女性（25～44歳）の有業率73.75%(H24)→76.75%(H30)
- ・目標（アウトプット）：輝く女性応援セミナー出席者数30名
達成状況：セミナー出席者数15名

事業の特徴

- ・女性が活躍できる職場環境づくりを推進するため、企業等の経営者や管理職を対象としたセミナー、研修を実施。
- ・研修に参加した企業のトップインタビューを新聞掲載し、他企業や県民への啓発を図った。

連携団体

- ・山梨県情報通信業協会、都留市経営者協会の勉強会でセミナーの周知。
- ・山梨県産業労働部の働き方改革アドバイザー派遣事業を参加企業へ周知。

事業の効果

- ・企業等の経営者や管理職を対象としたセミナー等を開催したことで、トップダウン効果により、企業等における女性活躍推進につながった。
目標：女性（25～44歳）の有業率73.75%(H24)→76.75%(H30)

今後の課題

- ・セミナー参加者が少なく、参加者を増やす効果的な周知を行うことが課題。

事業の概要

(1) 輝く女性応援セミナー事業 (参加者 12社 15名)

講師：清水レナ氏((株)CHANCE for ONE 代表取締役社長)

日時：平成29年8月22日(火)

内容：主に県内中小企業・団体等の経営者、管理職並びに人事担当者に対し、女性活躍推進への理解促進、意識改革を図るためのセミナーを実施。女性活躍推進が必要とされる背景や、女性活躍推進の状況並びに先進事例、企業戦略としての女性活躍推進などについて学んだ。

(2) 女性の活躍支援事業所研修会 (参加者 6社 8名)

講師：木村純子((株)CHANCE for ONE 人材開発スペシャリスト)

日時：平成29年10月12日(木)

内容：自社の女性活躍状況の把握・分析、課題抽出・整理、目標設定・施策計画立案などを行い、女性活躍の実施ステップのイメージを持つことで、目指す「女性活躍推進」に対するビジョンや方向性を可視化。その過程で阻害要因となる上司の意識や職場環境などについて、講師から助言を受けながら課題解決策を探った。

(3) 女性活躍に向けた情報共有

研修に参加した企業のトップインタビューを新聞掲載し、他企業や県民への啓発を図った。女性活躍推進への取組に対する企業トップの意識や方向性を明確にすることで、他社への波及効果や、広く一般県民の女性活躍に対する機運の醸成を図った。平成30年3月19日新聞掲載。



女性の活躍支援事業【山梨県】

地域の実情と課題

- ・本県の管理的職業従事者に占める女性の割合はH24に13.3%であり、全国平均の13.4%を下回っている。
- ・県内企業の99.5%を占める中小企業等においてはロールモデルとなる人材や、相談相手がいない場合が多く、企業毎に研修などを行うことも困難と言われており、女性管理職となる人材が育ちにくい状況である。

事業の特徴

- ・これまであまり取り組まれていなかった女性社員一人一人のスキルアップや長期的なキャリアアップなどについて、講演や参加者同士の意見交換などを通じて、具体的なイメージを持ち、その実現のための課題解決の方法を「取組宣言」として掲げ、企業名なども含め周知したこと。

事業の効果

- ・取組宣言、事例を広く周知することで、県民・企業などの関心が高まり、当事業に取り組んだ企業自体のイメージアップに繋がるとともに、取組事例を他企業などにも参考にしてもらうことで、働きやすく、子育てしやすい職場環境実現の好循環につながった。

目標：管理的職業従事者(会社役員・管理的公務員等)に占める女性の割合13.3%(H24)→20.0% (H33)

目的・目標

- ・目標（アウトカム）：管理的職業従事者(会社役員・管理的公務員等)に占める女性の割合13.3%(H24)→20.0% (H33)
- ・目標（アウトプット）：研修に参加し、参加者各自の取り組みを「取組宣言」として発表した数20本
達成状況：取組宣言数15本

連携団体

- ・山梨県情報通信業協会、都留市経営者協会の勉強会でセミナーの周知。
- ・中小企業団体中央会等、経済団体へ取組宣言事例集を配付。

今後の課題

- ・今回の事業により参加者には、女性リーダーとしての意識の高まりがみられた。今後は女性管理職を増やしていくため、研修内容を充実させ、働く女性のロールモデルとなる人材を育成していくことが必要。

事業の概要

(キャリアアップ研修)

研修講師(全回共通)：浜田紗織氏((株)ワーク・ライフバランス)

(1) 第1回研修(参加者20名)

日時：平成29年8月31日(木)

- ・キャリア形成やワークライフバランスの専門の講師により女性活躍の導入として、女性の活躍の必要性やメリット、女性リーダーに必要なスキルなどを学んだ。
- ・事業参加者は目指すキャリアを書き出すなどして可視化し、そのキャリアアップのために必要なスキルを挙げた。

(2) 第2回研修(参加者17名)

日時：平成29年10月13日(金)

- ・実践で使える資料の作成方法や効果的な発表の仕方などを専門の講師より学んだ。
- ・ワークショップ形式で参加者同士が意見交換をしながら各自の課題である「取組宣言」の内容を検討した。

(3) 第3回研修(参加者17名)

日時：平成29年11月22日(水)

- ・職場の管理職、上司などにも共に参加してもらい、第2回意見交換会での議論を踏まえ、今後のキャリア形成のために必要なスキルや課題に対して各自が取り組む「取組宣言」を決定し、発表した。

(4) 周知

- ・研修終了後、「取組宣言」などまとめた事例集を作成し、県内各所に広く配布して周知した。平成30年3月に4,000部作成。

(働く女性の無料法律相談)

- ・相談内容：セクハラや雇用問題、マタハラ等について女性弁護士等がアドバイス。
- ・実施時期：毎月2回 第2、第4土曜日午後1時～3時
- ・対象：県内企業で働く女性労働者など
- ・相談件数：1回あたり4件、1件あたりの所用時間30分
- ・委託先：山梨県弁護士会
- ・平成29年度利用実績：計44人



男性育児参加企業育成事業【山梨県】

地域の実情と課題

・本県の民間企業における男性育児休業取得率はH24に1.6%であり全国平均の1.89%を下回っており、男性の育児休業の取得や家事・育児参画は進んでいない状況である。

目的・目標

- ・目標（アウトカム）：山梨県内企業における男性の育児休業取得率1.6%(H24)→10%(H30)
- ・目標（アウトプット）：講座参加後に職場で男性の育児参加への取組を行った企業の割合70%
達成状況：67%

事業の特徴

- ・講座受講者を男性育児参加推進員として登録し、仕事と育児の両立支援のための意識改革や働き方の見直しの取組を推進を依頼。
- ・優良企業の取組事例や業務改善方法等を紹介するためのイクメン・イクボス推進ハンドブックを作成。

連携団体

- ・山梨県情報通信業協会、都留市経営者協会の勉強会で講座の周知。
- ・中小企業団体中央会等、経済団体ヘイクメン・イクボス推進ハンドブックの配付。

事業の効果

- ・企業の仕事と育児の両立支援をする職場環境づくりを図る講座の開催により、企業内の男性の育児参画が推進につながった。
- 数値目標：山梨県内企業における男性の育児休業取得率1.6%(H24)→10%(H30)

今後の課題

- ・講座参加者が少なく、参加者を増やす効果的な周知を行うことが課題。
- ・講座受講後に、男性の育児参加への取組を行った企業と行っていない企業があり、受講後の取組を促すことが課題。

事業の概要

(1) 男性育児参加推進員養成講座の開催

講師：安藤哲也氏（NPO法人ファザーリングジャパン）

①第1回講座（理論編）（参加者9社11名）

日時：平成29年9月8日（金）

内容：男性の育児参加の必要性や、仕事と育児の両立支援を推進することによる企業、個人のメリットについて学んだ。

②第2回講座（実践編、グループ討議）（参加者8社10名）

日時：平成29年10月4日（水）

内容：自社の課題の洗い出しを行い、職場全体の意識改革の手法、業務改善方法について討議を行った。また、グループ討議により参加者同士のネットワークを構築した。

(2) ハンドブックの作成

男性育児参加推進員が職場に戻って活動する際の参考としてもらうため、優良企業の取組事例や業務改善方法等を紹介するためのハンドブックを作成した。県中小企業団体中央会や経営者協会等の各種団体に配布し、広く周知を行った。平成29年12月に3,000部作成。

